

## 2025年度を迎えて

院長 久保田 雅也

また新しい年度が始まる。世界は混沌としたまま。まるでゲームを見ているような気分にもなる。

こういう状況で誰かが救世主を望んだとしても責められない。不安や願望の結晶としての救世主が浮かんでくる余地は誰にもある。そんなものはどこにもいないのだが。気をつけないとまたぞろ原理主義が跋扈するだけだろう。

いいことも悪いこともうっかり道を間違っていたら自分たちもあそこにいたかもしれないという内省。自分たちのことは自分たちで考えて決める。

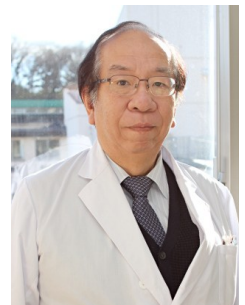
立場の数だけ正義がせめぎ合う状況で、モノ言わぬ者たちを守っていること自体、この混沌とした世界に対する non だと信じている。



## 理事長就任のご挨拶

理事長・名誉院長 木実谷 哲史

令和7年1月10日に河幹夫理事長が逝去されました。厚労省の内閣府専門官を辞められてから神奈川県立保健福祉大学教授を10年間勤められた後、私どもの法人理事長に就任されて職員全員をけん引してこられました。社会福祉に対して確固たる信念を持たれ、特に障害児者福祉に対して長年かかわってこられました。今島田療育センターは新しいセンターを目指して生まれ変わる大切な時期を迎えています。そのようなときに河理事長を失ったことは痛恨の極みですが、職員一同で一致団結して新しい島田療育センターを作っていきましょう。



## 2025年度の方針

### 療育を見つめ直し組織力の強化、経営の安定化を図る

- ① 現実的な増収計画を策定する
- ② 関わる人全てを尊重した接遇に心掛ける
- ③ 各事業の組織体制の見直しを行う
- ④ 教育体制の構築とセンター内外での研究発表
- ⑤ 新病棟建築の施工を進める

## 島田療育センターの理念

### 利用者のニーズに応え 質の高い療育をめざす

#### 療育の指針

- ① 個性を尊重し、充実した生活を送ることができるように努めます。
- ② 人間としての尊厳を重視した質の高い医療、看護、生活支援を行います。
- ③ 年齢や個々のニーズに応じたサービスを通して、生活の質の向上に努めます。
- ④ 家族・保護者のかたがたとよく話し合っ、相互理解に基づいたサービスを提供します。
- ⑤ 地域社会に開かれたセンターをめざします。

多摩スマイル吹奏楽団

## コンサートを開催しました

2月16日(日) 厚生棟研修室にて「多摩スマイル吹奏楽団」によるコンサートを開催しました。今年度はわいわい祭りも含め、3回目お越しいただきました。午前からの音合わせ、繰り返される練習に、演奏への意気込



みを感じました。プログラムでは、ディズニーのダンスを披露する場面もあり、サービス精神のある多摩スマイルさんらしいコンサートになりました。また来ていただけるのとことで、楽しみが増えました。

(療育部 清水 信夫)



## CAPP ~人と動物のふれあい活動~ 第2病棟

2月19日(水)にCAPP(人と動物のふれあい活動-以下CAPP)を行いました。今年度5回目となるCAPP活動のテーマは「春の訪れ」です。普段の生活では味わうことができない動物とのふれあいを通じて「視線を向ける・手を伸ばす・両手で包み込む・笑顔になる・声

を出す・表情が輝く」などの顕著な変化があり、それまで眠りがちだった利用者様がしっかりと目を開けて動物達との感触を楽しんでいました。

久しぶりの活動に全員が笑顔になり、動物たちの素敵な魅力に惹かれた時間となりました。ご協力いただいた動物たち・ハンドラー(飼い主)の皆さん、本当にありがとうございました。

(療育主任 下村 毅)



アートピアの仲間たち

## 訪問コンサートを開催しました

2月23日(日) 音楽大学の学生4名をお迎えし、音楽コンサートを開催しました。ピアノ・声楽・ヴァイオリン・フルートを学んでいる学生の皆様ですが、海外で研

鑽を積んでいる方もおり、一曲一曲に込める思いが直接伝わってくる素敵なコンサートになりました。

生演奏を聴く機会が少ない利用者様にも楽しんでいただけるようなクラシックの名曲や、馴染みの深い曲の数々を披露していただきました。ありがとうございました。

(療育部 清水 信夫)



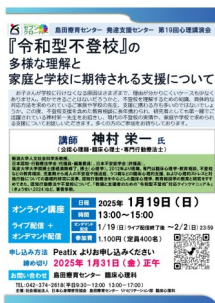


第19回

## 心理講演会を開催しました

臨床心理科では、地域の方に向けた情報発信を目的に年に一回講演会を企画しています。今年度の心理講演会は、『令和型不登校』の多様な理解と家庭と学校に期待される支援について」というテーマで、新潟大学教授の神村栄一先生をお招きしお話しいただきました。1月19日から2月2日まで、ライブ配信とオンデマンド配信によるオンライン開催で実施しました。

ご講演では、現代の不登校の特徴について、事例も交えながらとても分かりやすくお話しいただきました。実際の支援については、まず、不登校のリスクに気づいて予防的な関わりをすることが大切であるというお話がありました。また、子どもの支援において睡眠を整えることの大切さと具体的な工夫や、ゲームやネットへの依存傾向のあるお子さんへの対応、学校が安心安全の場であるために必要な支援や、お子さんが心のエネルギーを蓄えるための「行動活性化」の方法など、実際の支援について具体的に丁寧にお話をたくさん



伺うことができました。参加者の方から事前に寄せていただいた質問にも答えていただき、盛りだくさんの内容でした。

教育関係者の方をはじめ、医療関係者、保護者の方など、ライブ配信とオンデマンド配信を合わせて325名の方にご参加いただきました。ご参加いただいた方からは、「不登校の増加について、社会環境等の変化によることも大きいことが確認でき、大人の意識を変える必要があると気づけた」「不登校や行き渋りのある子どもの理解につながる内容だった」「登校できている子の支援にも生かせる内容だった」などのご感想をいただき、不登校の子どもを理解し、支援を考えていく上でヒントにさせていただけたようです。企画した私たちにとっても、より良い支援をしていくために大切なことをたくさん教えていただき、日ごろの支援を振り返る機会になりました。

ご参加くださいました皆様、誠にありがとうございました。今後も地域の皆様に関心を寄せていただけるような講演会を企画していきたいと思っております。最後に、講師の神村栄一先生をはじめご協力いただきました皆様に心から感謝申し上げます。

(臨床心理科 堀越 宏子)

第22回

## 公開シンポジウムを開催しました

第22回島田療育センター公開シンポジウム(オンライン開催)が2月8日(土)午後に行われた。今回のテーマは「ICT機器と遊び“私もゲームがしたい”」であった。生活の中へのICT機器の浸透はめざましく、多くの「便利」を享受しているが、様々な障害を持った方たちの利用はまだ限られている。

当センターではICT機器を使用した「遊び」に特化したピコピコルームを設置し、臥床状態+コミュニケーション困難な重症児者に対し、様々なシステム(特にアイトラッカー)を利用し、描画、ゲーム、楽器演奏などを文字通り遊びながら行っている。生活の基盤である「食う・寝る・遊ぶ」の中で重症児者は生きるのに精いっぱい遊びは思うに任せないが、その中で如何にして皆で遊ぶかを考えたいと思い企画した。

講演は当センター情報システム科リハ工学士 神田水太氏が「ピコピコルームとICT機器の活用」と題して様々な機器での遊びの拡がりを提示し、当センター通



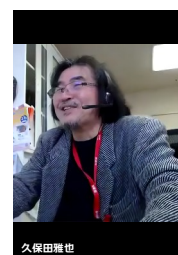
院中の外来利用者様の保護者 矢崎寛子氏が機器利用当事者としてこれまでの経過と現状を述べ、最後に基調講演として島根大学 総合理工学部 伊藤史人氏に重症児者に対する視線入力を使ったICT機器開発の先覚者として現状と課題についてたくさんの事例とともにお話しいただいた。支援者こそ希望を持つべきだという言葉が最後にあった。

医療関係者、教育関係者、家族、センター職員、学生、その他さまざまな領域の方々180名以上の視聴があり、たくさんの感想が寄せられた。本シンポジウムと9月の島田セミナーは当センターの行っていること、考えていることを多くの方々と共有するまたとない機会である。今後もテーマを厳選し、届けていきたい。

(院長 久保田 雅也)



ディスカッション時の様子



久保田雅也

2025年度

## 主な行事予定・就学状況

4月 新職員オリエンテーション  
デイケアセンター 入所式

5月 第64回創立記念式典/記念コンサート  
デイケアセンター 幼児部遠足  
第7病棟 大遠足(西棟)  
第6病棟 大遠足1班

6月 第2病棟 大遠足1班・2班  
第3病棟 大遠足(西棟)  
第5病棟 夏のお楽しみ会  
島田療育センター防災訓練  
島田療育センター集談会

7月 健康と長寿のお祝い

8月 二十歳のお祝い(入所)

9月 わいわい祭り

10月 第1病棟 大遠足1班  
第3病棟 大遠足(東棟)  
第5病棟 秋のお楽しみ会  
第6病棟 大遠足2班  
二十歳のお祝い(デイケアセンター)

11月 第1病棟 大遠足2班  
第7病棟 大遠足(東棟)  
合同防災訓練  
島田療育センター集談会

12月 クリスマス会  
(入所・デイケアセンター)

3月 卒園式(デイケアセンター)

東京都立多摩桜の丘学園在籍数(4月1日現在)

	本校	分教室	総数
小学部	0名	0名	2名
中学部	0名	0名	
高等部	1名	1名	

## 全体研修を開催しました

全職員を対象に、以下の研修を実施しました。

### 個人情報保護研修

2024年12月9日～2025年1月17日  
「個人情報とプライバシー保護の基本」

### 第3回食べるプロジェクト

2024年12月23日～2025年1月31日  
「誤嚥・VFについて」

### 第2回医療安全講習会

2025年1月6日～2月28日  
「重症心身障害児の骨折と予防」

### 第2回虐待防止研修

2025年2月17日～3月31日  
「2024年度虐待防止チェックリスト結果報告」

## おしらせコーナー

### 第64回創立記念式

2025年5月1日(木)に創立記念式が行われます。当センターは今年で創立64年を迎えます。また、同日に記念コンサートも開催いたします。



### ヤギがやってきました

今年も大人気のヤギさんたちがやってきました。夏に向けて伸びてくる草をもりもり食べてもらう予定です。



## 季節の彩り



春の日を浴びながら、桜咲く広場でピクニックを楽しんでいる様子です。春の花々を求めて歩いてみてはいかがでしょうか。

発行者 社会福祉法人 日本心身障害児協会 **島田療育センター**  
〒206-0036 東京都多摩市中沢1-31-1

TEL 042 (374) 2071 (代表)

URL <https://www.shimada-ryoiku.or.jp/tama/>

スマホの方は  
こちらから

島田療育センター



フォロー  
ほっけ



フェイスブック

